



<https://www.ube-exsymo.co.jp/>



ユニーク = []

それは、奇抜だったり、目立つことじゃない。

ましてや、流行に乗ることも、

オモシロさを求めることでもない。

〔唯一無二〕な技術を生み出すこと。

そこにただ【^{ひ た む}直向き】に取り組むこと。

これまでありえなかったことに挑戦し

〔現状打破〕し続けること。

それが、私たち宇部エクシモが持つ“ユニーク”。

素材にアイデアを掛け合わせ、新たな価値をもたらす。

そんな“機能性素材”を通して、

人びとの今を、そして未来を、豊かなものにしたい。

だから、私たちはこれからも、

“ユニーク”で

ありつづけようと思う。

ユニーク ＝ 唯一無二

Only one

[Only one]

ユニークであることは
すなわち、
唯一無二である。

私たちが生み出す製品は、誰にも気づかれない小さな部品や、見た目からはわからない性能を持つものばかり。でもその中には、かつてだれも実現できなかった革新的なアイデアと画期的な技術が詰まっています。その秘訣は、時代のニーズやお客様が抱える問題にまで遡り、根本から課題解決する姿勢にあります。本当に役立つものとは何か、それを実現するにはどうすべきか。柔軟な発想で考え抜くからこそ、唯一無二の技術を生み出すことができるのです。



- ① 押出成形技術 04
- ② 紡糸・延伸技術 08
- ③ 被覆引抜成形技術 12
- ④ ゾル・ゲル技術 16
- ⑤ 連続ラミネート技術 20

高度成長期真っ只中の1966年、私たちは誕生しました。そこから半世紀余り、急激な時代の変化にあわせて「機能性素材」の可能性を探り続けています。

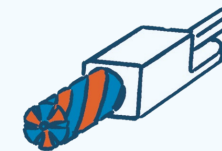
宇部エクスモの5つのコア技術

1 Core Technology

押出成形 技術

Extrusion Molding

強度を高め、 変幻自在なカタチへ。



樹脂素材を溶融混練してダイスから押出、冷却固化することで、様々な形状に成形する技術。使用する素材は、ポリプロピレン、ポリエチレン、ナイロン、ABS、ポリエチレンテレフタレートなどの熱可塑性樹脂。加熱すると軟化して成形しやすくなり、冷やすと再び固くなる素材の性質を利用し、多彩な機能性素材を生み続けています。

私たちはこの技術からスタートし、1966年に**世界初の梱包用ポリプロバンド**を誕生させました。1980年代には光ファイバーを収納するラセン状の溝のある画期的なスペーサー「ラセンコンポーズ」を生み出し、**日本国内での光ファイバー網の普及に貢献**。現在では成長著しい中国・東南アジアへと活躍の場を広げています。

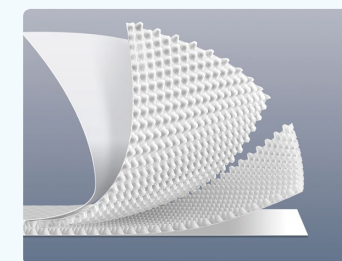
素材を押し出し、カタチにする。この技術に豊かなアイデアを掛け合わせ、他社にはマネできない製品をこれからも生み続けます。



「PPバンド」を世界で初めて生み出したのも、実は私たちです。高強度で摩擦に強い梱包用のポリプロバンドは、流通業界の常識を大きく変えました。



画期的なアイデアで生み出した「回転式」のダイス。光ファイバーを保護・収納できるラセン状の溝を、コンマ数ミリの精度で長さ数十キロメートルにわたり制御することができます。



2枚のシートの間に、コーン状の突起のあるシートを挟み込んだ「ツインコーン」。「軽いのに丈夫」という特性を活かし、物流、農業、土木などあらゆる分野で利用されています。



ラセン状の溝で、世界の情報通信を支える。

現在の生活になくてはならない光通信網。その光ファイバーを張り巡らせるために使われるのがスロット。ラセン状に成形した溝内に光ファイバーを収納することで、外部からの側圧や衝撃から守ることができ、これによって安定した通信を可能にしているのです。

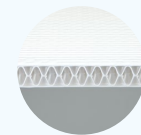


光通信ケーブル資材 ラセンコンポーズ®

国内唯一の光通信ケーブル向けスロット専門メーカーとして、高い採用実績を誇ります。その溝寸法、溝反転ピッチ等の形状精度は極めて高く、国内はもちろん海外でも高い評価を得ています。また、成形する樹脂や押し出す形状、中心材の材質など、目的に応じた製品設計が可能です。

軽さにこだわり抜いて、クルマの燃費向上を実現する。

自動車の燃費向上のために、ますます重要性を増している軽量化技術。内装材にも、より軽く、より強くといった特性がシビアに求められています。たとえば、トランクの中敷や座席のバックパネル。強度を保ちつつも、可能な限り軽い素材を用いることで、陰ながら燃費向上に貢献しています。



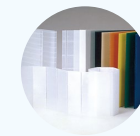
自動車内装材 ツインコーン®

ツインコーンは、内側にコーン状の突起の先端を融着したユニークな形状の中間体を持つことで、強度と軽さを両立しています。また従来の中空構造板と比べ、シートの向きによる強度の差がなく、さらに吸音効果にも優れていることから、電気自動車のラゲッジボードを始めとする内装材にも使用されています。



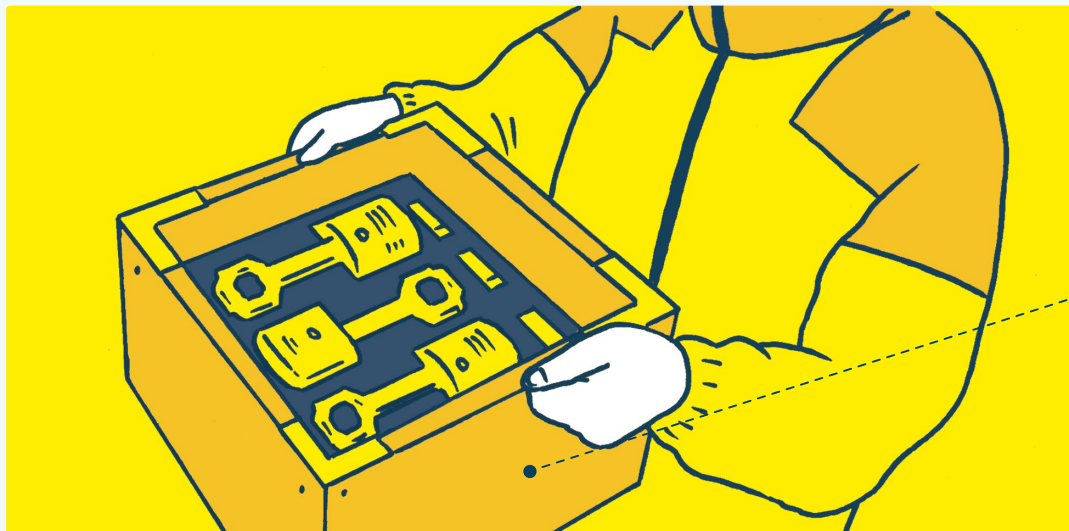
自由設計のエコなハコで、日本のメーカーを支える。

メーカーが生み出した部品を安全に運搬するための「通い箱」。そこには、損傷を防ぐことはもちろん、ゴミの削減とコスト低減が求められます。ハーモニカのような断面構造を持ち、軽くて丈夫、加工も容易な「プラスチックダンボール」は、様々な形に姿を変え、今日も大切な荷物を守っています。



プラスチックダンボール ダンプレート®

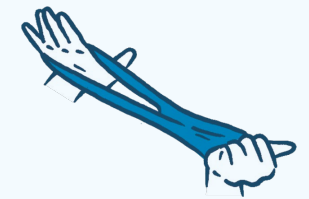
プラスチックダンボール「ダンプレート」は、1971年に生産を開始した当社のロングセラー製品です。軽量、耐衝撃性・耐薬品性に優れており、水濡れに強く加工性も高いその特徴を生かし、物流資材だけでなく引越現場の養生シートや仮設看板、住宅用の通気材まで、多様なニーズに合わせて幅広い分野で使用されています。



Core Technology 2

紡糸・延伸技術

Spinning and Drawing



英知を紡ぎ、 強さを引き出す。

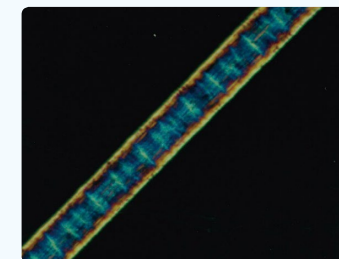
樹脂を融かして押し出し、冷却しながら糸状に細く引き延ばす「紡糸」技術。これに加えて、強度を高めるために糸内部の結晶を引き揃える「延伸」技術を掛け合わせて生まれるのが、合成繊維です。私たちは、半世紀以上前からこの紡糸・延伸技術を磨き続けてきました。

1980年代には異なる樹脂を複合した鞘芯構造の繊維を紡糸する技術確立し、紙おむつの性能向上に貢献。2000年には独自開発した高圧蒸気延伸技術で、オレフィン系繊維の常識を打ち破る高強度繊維を実現し、二次電池の高性能化を支えています。

合成繊維の製造で培ってきた技術の探求から英知を紡ぎ出し、社会に貢献する価値ある製品へと発展させていきます。



創業時から手がける漁業用ロープ原糸「ダンライン」は、海での過酷な環境において優れた耐久性、耐磨耗性、耐腐食性を発揮し、プレミアムブランドとしての地位を確立しました。



温度ムラを制御できる高圧蒸気で安定した高倍率延伸を実現。試作した繊維には、高強度の証である竹の節状の結晶構造が。高強度ポリプロ繊維「シムテックス」誕生の瞬間です。



「シムテックス複合フィラメント」は複合繊維を高強度化した自己融着性繊維です。織物にして熱プレス成形が可能で、自動車部品や生活用品など様々な用途で採用が進んでいます。

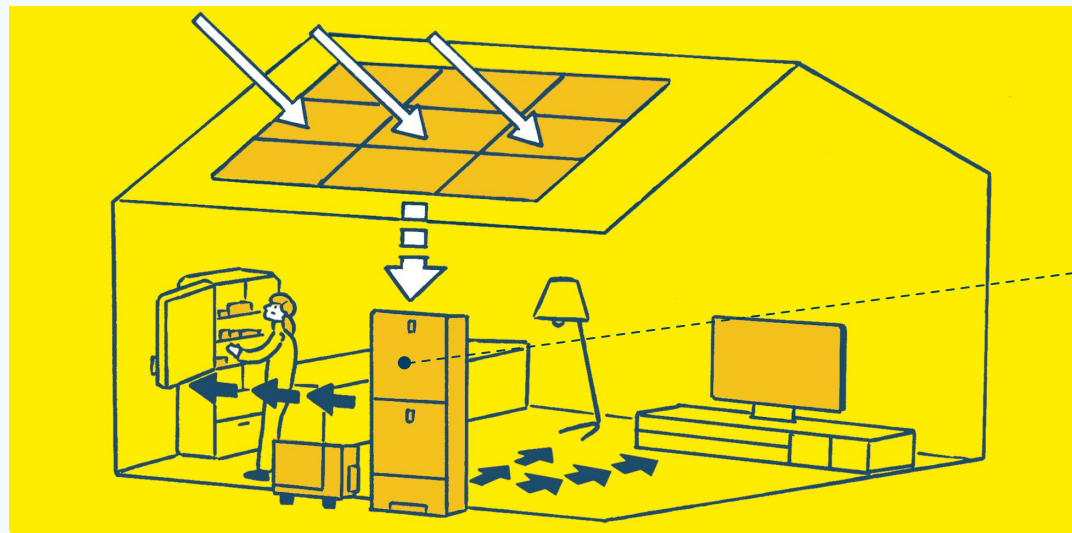
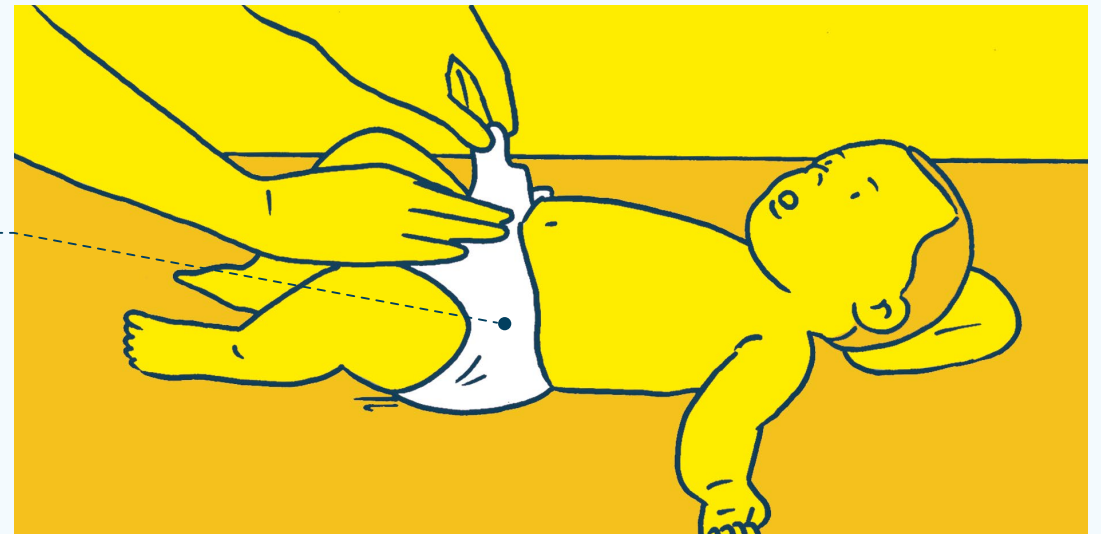
ムレないシートで、赤ちゃんの成長に寄り添う。

赤ちゃんの必需品である紙おむつの大部分は、合成繊維からできています。赤ちゃんのデリケートな肌を守りながら、ムレずに、吸水する——そんな日本の紙おむつの品質は、世界でも随一。多彩な機能を兼ね備えた合成繊維が、赤ちゃんの健やかな成長を支えているのです。



複合繊維 UCファイバー

合成繊維製造技術を駆使し、繊維の中心と外側で異なる2種類の樹脂を用いた複合型繊維。樹脂の融点差を利用し、紙おむつの材料になる不織布シートへの成形が容易で、樹脂の組合せや、塗布する油剤の技術により、親水性・撥水性・抗菌性・嵩高性・難燃性・伸縮性など多様な機能・性能を付与することが可能です。



電池の中から、持続可能なエネルギー社会に貢献する。

繰り返し充放電可能な蓄電池の性能は電極同士が接触してショートすることを防ぐ、セパレーターと呼ばれるシートの性能に左右されます。太陽光パネルで発電した電気を貯めたり、様々な家電製品を駆動させる蓄電池、そのさらに内側にあるセパレーターから、持続可能な社会を支えています。



高強度ポリプロ繊維 シムテックス®

独自の延伸プロセスの採用によって高度に配向結晶化したポリプロピレン（PP）繊維で、元々耐薬品性に優れるPP繊維の中では、比類なき強度、弾性率、熱収縮率を誇ります。電極同士が接触してショートするリスクを避けながら、電池の容量UPを実現しており、唯一無二の繊維として高い評価を得ています。

極細の繊維で、水の安全を守る。

エアコンや掃除機でおなじみのフィルター。家庭用製品はもちろん、産業用機械や装置などにも多用されています。より強く、より薄く、より微細に——極細繊維から生まれる高性能なフィルター用不織布が、環境の保全や安全な水の確保に役立っています。



極細オレフィン複合繊維 エアリモ®

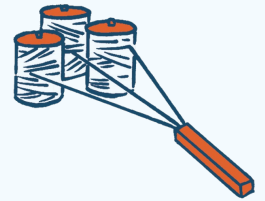
新開発の「エアリモ」は、独自の紡糸延伸技術で鞘部と芯部で融点の異なるオレフィン系樹脂を用いた自己接着性のある複合繊維として、従来の限界を超える0.2 デシテックス（繊維径約5.3マイクロメートル）の細さを実現。不織布を製作した場合に引張強度の向上や細孔径化などを実現し、さらなる薄膜化、低目付化を可能にします。



Core Technology 3

被覆引抜成形技術

Coating and Pultrusion

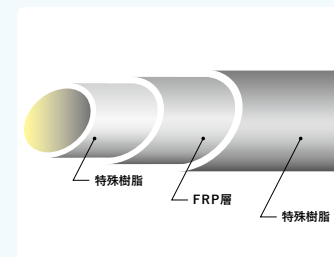


コーティングで、 特性を掛け合わせ。

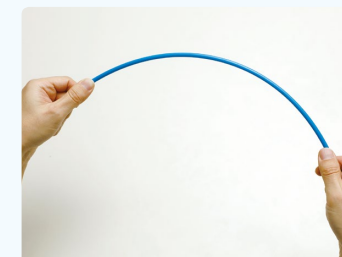
熱で固まる性質の繊維強化プラスチック（FRP）の外側に、樹脂をコーティング。その樹脂層を型に見立て後から熱処理することで、一体で成形する技術です。金型を使用せず、樹脂層を型の代わりにする **当社独自のアイデア** により、引抜抵抗を小さくするとともに、**生産性を大幅に向上** させることに成功しました。

この技術により生産したFRP製品は、強く・軽く・錆び知らず。竹、木材、金属などの代替品として、水産、農業、建設など幅広い分野で使用されてきました。

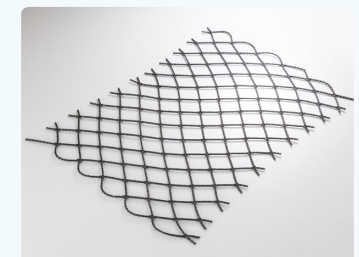
異なる特性を持つ素材を独自のアイデアで組み合わせ、新たな価値を生み出す。社会のあらゆるニーズに応えるため、私たちの挑戦はこれからも続きます。



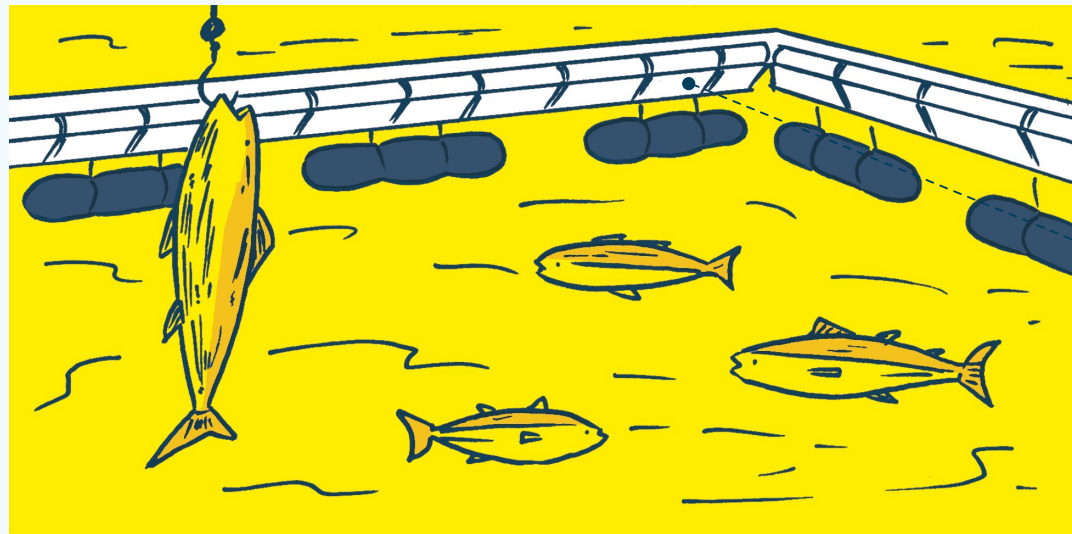
独自の接着技術で、特殊樹脂+FRP層+特殊樹脂の3層構造に成功した「コンボーズ」。丈夫で長持ちな資材はあらゆる分野で活用されています。



軽さ、硬さ、しなり、曲げの方向性、表面の滑らかさなど、難度の高い要求などにも柔軟に応えられる資材として、あらゆる分野から注目を集めています。



これまで、FRP素材をネットといった複雑な形状に成形することは不可能でした。「未硬化コンボーズ」はカゴなどに成形した後に熱処理を行い、形状を固定できる画期的な素材です。



錆びない資材で、水産業の未来を変える。

世界では魚の消費量が増え続け、養殖業が重要視される中、養殖した親魚の卵から育てる完全養殖は海洋資源の持続可能な利用を実現するものとして期待されています。海水にも負けない強くて錆びない資材が、日本の養殖のあり方を、さらには漁業の明日を支えています。



水産用支柱 コンポーズ®パイプ

特殊樹脂接着3層構造による強靱な弾性を誇り、軽く、強く、錆びないFRPパイプ「コンポーズ」は、作業性、耐久性、安全性に優れ、特に海水による錆や腐食の心配がないといった水産用資材に適した特徴を持ち、養殖用生簀枠にも採用されるほか、海苔養殖支柱や係留支柱、牡蠣養殖筏・棚等広く使用されています。

軽くてしなやかなポールで、高齢化する農業を支える。

ポールにビニールを張りドーム状の囲いを設けるトンネル栽培。野菜の栽培法として多用されますが、作物の生育段階に応じて設置・撤収が必要となるのが難点。軽くて設置しやすく、使わないときも収納しやすいポールが、高齢化する農業従事者の負担を減らすことに一役買っています。



農業用トンネル支柱 ダンポール®

当社独自の特殊多層構造FRP製ポール「ダンポール」は、金属性のものと比べ重さが半分以上と軽量で耐腐食性に優れています。また安全性を高める表面の被覆や、曲げても元に戻る使い勝手の良さなど、農業用トンネル支柱として最適な性能を有し、長年にわたり生産者から高い支持を得ています。



光ファイバーを守り抜き、災害に強い街をつくる。

もしも、災害が起こる前に、橋や堤防の危険度がわかったら。それを叶えるのが光ファイバーを用いたセンシング技術。構造物の状態を高精度に感知するためには、デリケートな光ファイバーを保護するための資材「テンションメンバー」が重要な役割を背負っているのです。



光ファイバーセンサー コンポーズ®テンションメンバー

家庭へ光ファイバーを引き込むドロップケーブル内で、折れやすい光ファイバーを支えるFRP製のテンションメンバー（抗張力体）として圧倒的なシェアを誇っています。このFRP製造技術を用いて、樹脂や繊維などの組合せを最適化し、求められる機能に合わせた様々なセンシング用FRP被覆光ファイバーの提供が可能です。



4 Core Technology

ゾル-ゲル 技術

Sol-gel Method

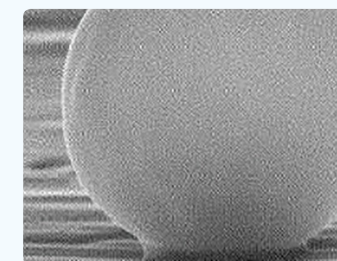
目には見えない、 精緻な世界を支える。



一般的には、低温でガラスを生成する技術として知られるゾル-ゲル法。金属アルコキシドと呼ばれる物質を溶かした溶液を反応させることにより、顕微鏡でも見えないほど小さな粒子（ゾル）が発生し、これが結合してゼリー状（ゲル）になる合成法です。

1980年代中頃、私たちはこの技術を用いた素材を研究中、高精度で粒の揃ったシリカ微粒子が得られることを発見。さらに研究を推し進めることで、**0.1 μm単位で粒子の大きさを制御する技術**を確立しました。

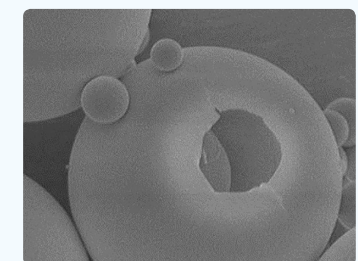
この微粒子は、液晶ディスプレイの「ギャップスペーサー」と呼ばれる部材に最適であることが見出され、1990年代のPC黎明期から今日に至るまで、液晶ディスプレイのギャップスペーサー用途として、**世界ナンバー1のシェア**を誇ります。



ハイプレシカの周りに樹脂を被覆した「固着粒子」。加熱することで樹脂を溶かし、粒子を基材に固定させます。他の材料を滴下しても粒子を固定することができる画期的な技術です。



ビーカーに沈むシリカ微粒子の塊が放つ輝き。これは球状で径の揃った粒子が六方最密充填構造を形成していたため。これが液晶ディスプレイのギャップスペーサー誕生への第一歩でした。



空洞構造を持つ「中空粒子」は、樹脂に混ぜると誘電率の低い空気層を内部につくり、高周波信号の伝送損失を抑制。高速・大容量化に対応した通信関連材料への利用が期待されています。

マイクロ単位で揃った粒で、映像を進化させる。

スマートフォンやテレビなどの高精細な液晶パネルには、画面の中で液晶分子が向きを変えるために必要なわずかな数ミクロンの空間を精密に確保するスペーサー微粒子の存在が欠かせません。このスペーサー微粒子のおかげで、私たちはいつでも美しい映像を楽しむことができます。



精密ギャップスペーサー ハイプレシカ®TS

「ハイプレシカ」は、ゾル・ゲル法の研究から当社が液晶ディスプレイ用スペーサーとして商用化した単分散シリカ粒子です。真球形状で、粗大粒子の含有が少なく粒度分布が非常にシャープ。また非常に高純度で、不純物をほとんど含んでおらず、その採用実績は世界シェアトップを誇ります。



純度の高さで、研究者たちの信頼に応える。

医薬、環境、バイオ化学などの研究分野で用いられる「高速液体クロマトグラフィー」とは、サンプル液に含まれる成分を、シリカ微粒子などをふるいのように用いて分離する分析手法。不純物をほとんど含まない高純度なシリカ微粒子が、科学技術の発展に貢献しています。

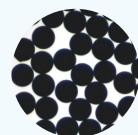


高純度シリカ微粒子 ハイプレシカ®FQ

「ハイプレシカFQ」は、真球形状で粒径の揃った高純度シリカ粒子です。熱安定性が高く表面装飾が可能で、シリカ微粒子に吸着性を高める表面加工を施し、高速液体クロマトグラフィーのカラム充填材として利用されているほか、半導体封止材や高機能接着剤用のフィラーとしても利用されています。

光を操り、快適性とプライバシー確保を両立する。

カーテンがなくても、瞬時に光を遮る窓。オフィスや自動車などに導入が進む調光フィルムは、2枚の基板間のギャップを確保するスペーサーという資材も光を散乱させない方がベター。スペーサーを黒に着色する——そんなちょっとしたアイデアが、調光ガラスの性能向上に貢献しています。



黒色シリカ微粒子 ハイプレシカ®BK

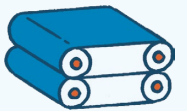
「ハイプレシカ」は真球形状で粒径の揃った単分散シリカ粒子です。本来は半透明の素材ですが、新開発の「ハイプレシカBK」は、光の散乱などを抑えたい用途向けに、独自の製法でシリカ粒子内部に黒色成分を配し、高い遮光性を実現しました。



5 Core Technology

連続 ラミネート 技術

Reel-to-reel Laminating



2つの素材を貼り合わせ、 ハイブリッドな価値へ。

異なる素材を貼り合わせて積層することで、新たな素材へと進化させるのが、ラミネート技術。私たちの工場では、2対の巨大な金属ベルトコンベアで素材を挟み、高温・高圧で連続して均一にプレス。本来は貼り合わせることが難しいような**熱膨張率の大きく異なる異種材料**でも、シワなく強固にラミネートすることが可能な上、万全な量産体制を実現しています。

2000年代初頭、私たちはこの技術を用いてフレキシブルプリント基板用材料を量産することに、**世界で初めて成功**しました。近年ではさらなる応用開発を進め、多種多様な金属と有機材料をラミネートする汎用性ある技術を確立しています。

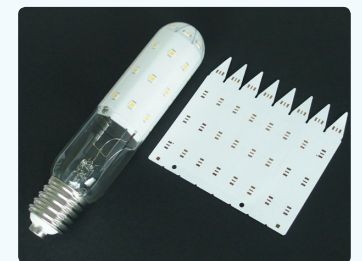
異なる素材を貼り合わせ、ユニークな素材を生み出すことで、これからも新たな価値を社会へと発信し続けます。



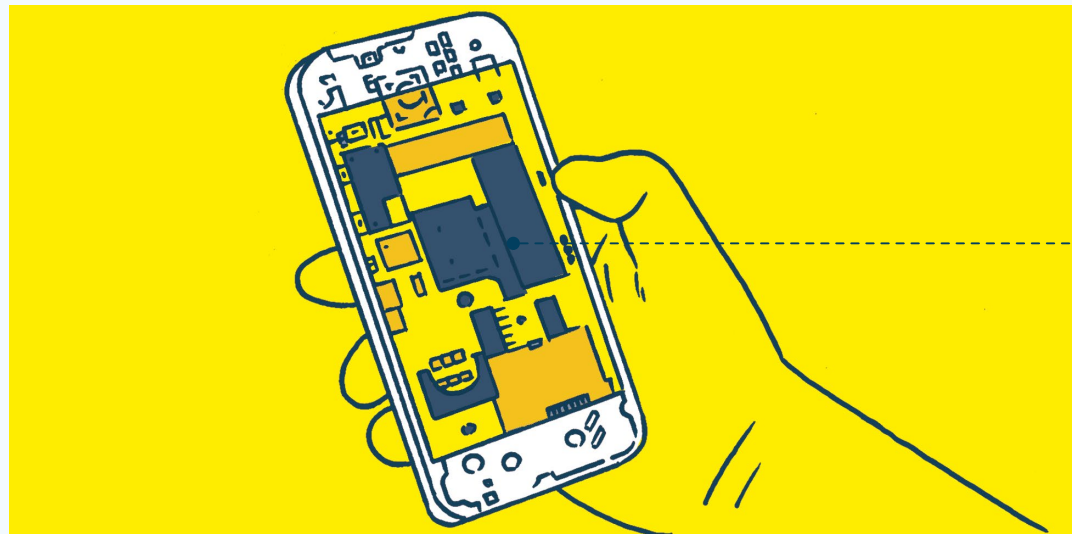
フレキシブルプリント基板用材料の製造用に世界初導入したラミネーター。技術者が量産にこぎつけた経験が、様々な素材を自在にラミネートできる技術の確立に役立つことになります。



炭素繊維を始めとした強化繊維と熱可塑性樹脂を圧着処理することで、繊維内部まで十分に樹脂が含浸した、FRTPシートを連続生産することも可能になりました。

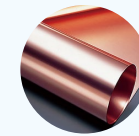


放熱対策が重要なLED向け放熱板としてアルミをラミネート。薄型、軽量で、立体加工できる放熱基板材料により、LEDチップを直接実装することができます。



頑丈さと正確さで、電子機器を小型化する。

スマートフォンなどの電子機器に欠かせないのが高性能なプリント基板。そこには、数十ミクロンの狂いもない精密さが問われます。接着剤を使わずに絶縁体と電子回路になる銅箔とを直接貼り合わせた基板が、精密機器の小型化、高性能化を実現しているのです。

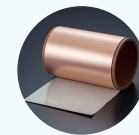


フレキシブルプリント基板用材料 **ユピセル® N**

「ユピセルN」は、金属ベルトで挟んで異素材を高温で均一にラミネートする当社独自手法により、接着剤を使わずにポリイミドフィルム「ユービレックス」と銅箔とを貼り合わせたフレキシブル銅張積層板です。ハンダ耐熱性や耐薬品性などに優れ、モバイル端末などの電子回路基板用材料として高く評価されています。

剥がれにくさで、ぶつからないクルマをつくる。

今や自動車に標準装備の衝突防止システム。危険物を瞬時に見つけ出す超高精度なセンサーの回路基板は、伝送ロスが少ないほど剥がれやすくなる銅箔と、高速通信に適した絶縁フィルムとの貼り合わせが課題。これを独自のラミネート技術で解決し、自動運転の未来を支えています。



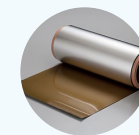
高周波アンテナ基板用材料 **エクシラム® L**

「エクシラムL」は、低誘電率、低誘電正接材料である液晶ポリマーフィルムに銅箔を貼り合わせたフレキシブルプリント基板用材料。高周波特性に優れるため、通信の高速化を必要とする高周波回路基板やアンテナ・ミリ波レーダーアンテナ部品に適しており、来るべき自動運転や第5世代通信の実用化に向け注目を集めています。



溶けない素材で、温める。

金属に電気を流して加熱させる抵抗加熱方式のヒーターは、様々なシーンで利用されています。たとえば最新のカーヒーターは、エアコンだけではなく、シート自体を温める機能も。冬でも快適な温もりは、溶けない素材があるからこそ実現できるのです。



ポリイミドヒーター用材料 **ユピセル® C**

「ユピセルC」は、ポリイミドフィルムとステンレス箔をラミネートした積層板で、薄型、軽量で屈曲性があり、また接着剤を使用していないため、高耐熱、シリコンフリーといった特徴があります。産業機器用ヒーター向けに高く評価されているほか、車載用ヒーターなどへの利用も期待されています。



ユニーク 直向き

Passion & Toughness

[Passion & Toughness]

ユニークであるためには、
直向きでないといけない。

これまで世の中に存在しなかった素材
——それは、単なる思いつきから生まれ
るものではありません。未来を見越した
発想力とともに、それを裏付けるための
緻密な研究、そして度重なるトライ&エ
ラーなくしては、決して生み出されない
ものです。私たちは皆、情熱と粘り強さ
の持ち主。ときに独り黙々と打ち込み、
ときに皆でじっくり話し合い、一人ひと
りが成長を続けながら、今日もただ直向
きにモノづくりに打ち込んでいます。

社員数



334名

13%



研究職

宇部エクスシモのひとびと

男女比



〔●男性〕 9
〔●女性〕 1

〔●男性〕

18.06年

〔●女性〕

18.01年

平均勤続年数



[研究職]

一人ひとりの挑戦と

密なコミュニケーションが、次の一手を生み出す。

理想となる素材を開発するために、研究職は一人ひとりが異なるテーマで日々研究を重ねています。各自が柔軟な思考を持って果敢な挑戦を続ける一方で、あらゆる立場の社員がフラットに意見やアイデアを交換する。こうした開かれた社風から、ユニークな機能性素材が生まれています。



研究所

多様化するニーズに応えるために、基礎研究から製品開発までを担う研究所。旗艦となる中央研究所に加え、先端繊維に特化した研究所も構えています。



中央研究所

宇部エクシモの研究開発の中核として、幅広い人材が産業分野を跨いだユニークな研究を行っています。



先端繊維研究所

合成繊維と光通信ケーブル用資材の主力工場となる福島工場に隣接、主に先端繊維の研究に特化した研究所です。

[技術職]

直ぐに実行する。納得いくまで粘る。
毎日の奮闘が、カタチになる。

まだ世にない製品を生み出す。そこには誰も想像できない壁が立ちはだかります。そんな高い壁と日々向き合うエンジニアたちは、スピーディーに実行する即応力とイノベティブな挑戦心を持って、生産ラインを設計・改良し、日々ユニークをカタチにし続けています。



工場

独自技術を結集させたオリジナル設備が並ぶ工場。研究から生産、流通に至るまでの一貫体制によって、迅速かつ柔軟に市場ニーズに応えます。



岐阜工場

市内最大の敷地面積を誇る岐阜工場は宇部エクスモの心臓部として、生産から出荷に至る全プロセスを一括管理しています。



福島工場

福島県・郡山市に構える福島工場は、先端繊維研究所とともに、合成繊維と光通信ケーブル用資材に特化した生産基地です。



宇部日東化成（無錫）有限公司

中国・無錫にて、急成長する中国・東南アジアへ向けた光通信ケーブル用資材の生産を一手に担っています。





社名：宇部エクシモ株式会社 UBE EXSYMO CO., LTD.

設立年月日：1966年2月22日

資本金：24億9,250万円

代表取締役社長：高橋俊充

本社：

〒103-0006

東京都中央区日本橋富沢町9-19住友生命日本橋富沢町ビル

TEL/03-6667-2411 FAX/03-6667-2433

沿革：

- 1966.02** 宇部日東化成株式会社設立
- 1966.04** 営業開始（ポリプロ繊維、ダンライン他）
- 1967.02** 中央研究所を新設
- 1971.03** 岐阜工場でダンプレート生産開始
- 1971.10** 岐阜工場でFRP製品生産開始
- 1980.04** 岐阜工場でサニーコート生産開始
- 1985.07** 岐阜工場でラセンコンボーズ及びコンボーズテンションメンバー生産開始
- 1987.06** 福島工場でUCファイバー生産開始
- 1987.10** 岐阜工場でコンボーズ角バタ生産開始
- 1994.08** 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1995.07** 岐阜工場でハイプレシカ生産開始
- 1996.09** 東京証券取引所第二部に株式を上場
- 1997.10** 福島工場でラセンコンボーズ生産開始
- 2000.08** 福島工場でシムテックス生産開始
- 2001.07** 岐阜工場でユビセルN生産開始
- 2002.04** 中国無錫市に「宇部日東化成（無錫）有限公司」を設立（当社100%出資）
- 2003.10** 宇部興産との株式交換により、同社の完全子会社となる
（これに伴い東証への株式上場廃止）
- 2007.06** 福島工場でシムロック生産開始
- 2008.04** 岐阜工場でツインコーン生産開始
- 2008.12** 岐阜工場で高機能チューブ生産開始
- 2013.06** 岐阜工場でフィルター生産開始
- 2013.10** 商号を「宇部エクシモ株式会社」に変更
- 2015.12** 先端繊維研究所を新設
- 2016.01** 岐阜工場でエクシラムL生産開始
- 2016.03** ユビセルC販売開始
- 2017.10** 岐阜工場で識別糸生産開始



【営業・事務職】

技術と社会の 架け橋になりたい。

いくら技術が優れていても、社会で役立たなければその価値は半減します。お客様が抱える問題やニーズと真摯に向き合い、最善の解決策を模索・提案することを通して、私たちの技術を社会的価値へと導く架け橋となります。

営業拠点

- ▶ 東京本社
- ▶ 名古屋営業所
- ▶ 大阪支店
- ▶ 宇部営業所
- ▶ 福岡営業所
- ▶ 福岡営業所有明分室



<https://www.ube-exsymo.co.jp/>
詳細は当社ウェブサイトをご覧ください

ユニーク

Break-through

[Breakthrough]

ユニークで
あり続けることが、
現状打破になる。

変化の激しい現代では、これまでの常識
では通用しない局面にぶつかります。昨
日の「最新」が、明日には「陳腐」になっ
てしまうことすらあるでしょう。だから
こそ、ユニークであり続ける——それが
私たち宇部エクスモの決意です。現状に
満足せず、技術を磨く。常に更新される
常識に負けない発想力を持つ。モノづく
りに実直に、直向きに打ち込む。私たち
はこれからも、「ユニーク」を武器に、
未来を切り開いていきます。

ユニークは、
なにかに「特化する」ことで生まれます。
技術と思考を研ぎ澄まし、
時代のニーズやお客様の抱える問題に
真摯に取り組むことで、
これまでにありえなかった製品を
数多く生み出してきました。
1つひとつの市場規模は
小さいのかもしれませんが、
けれど、その1つひとつの取り組みが
実を結んだ結果が、
あらゆる分野への「拡張」へと
つながっています。
この製品マップは、
そんな私たちの「特化」と「拡張」の地図。
もっともっと大きな地図を描くために。
これらも「ユニーク」であり続けたいと思います。

PRODUCT MAP OF UEXC

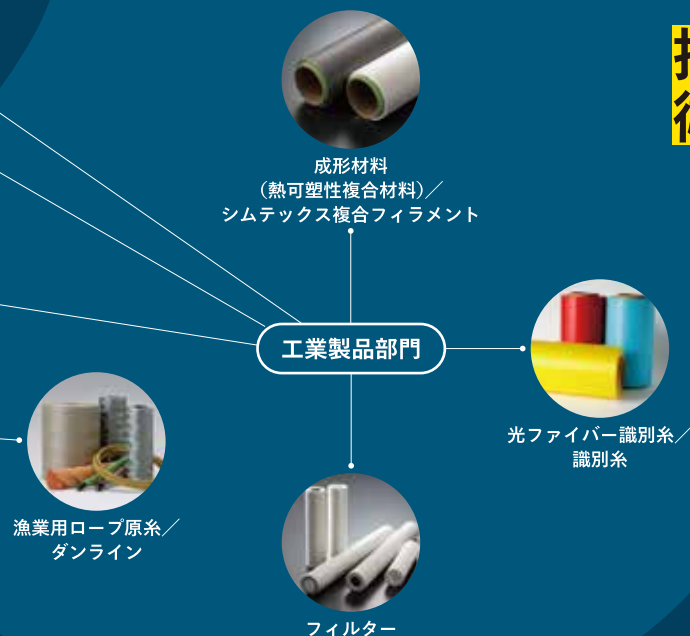
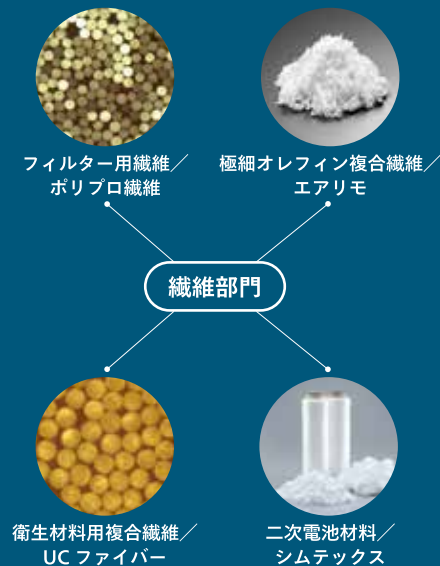
宇部エクシモ株式会社
製品一覧

ver. 2019

技術
押出成形

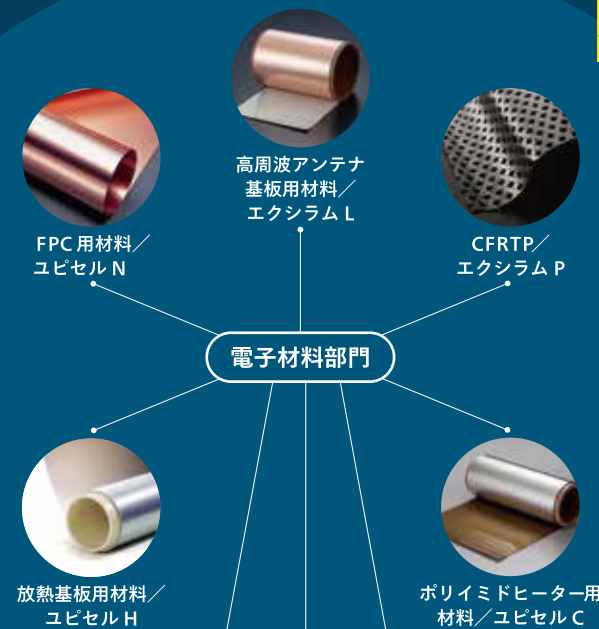


被覆引抜
成形技術



技術
紡糸・延伸

技術
連続ラミネート



技術
ゾル・ゲル

